

(仮称) 調布駅南地下自転車駐車場整備に伴う解体工事説明会

質疑概要

(開催概要)

【日 時】 平成28年10月12日(水) 午後7時～午後8時45分

【場 所】 調布市グリーンホール小ホール

【参加者】 21人

(質疑応答)

Q 樹木保全の会と市長との話し合いの候補日に11月1日も含まれているが、11月1日から着工するのか。また、いつ工事発注したのか。

A 契約は9月14日に締結している。樹木保全の会の皆さんとは協議中であり、樹木の取扱いを含めて意見のやりとりをしているため、樹木については方針が決まるまで手をつけない。本説明会は、樹木以外の建物等も含めた既設の撤去解体工事の説明であり、撤去工事にかかる前の外周工事の仮囲いを11月1日から実施したいと考えている。

Q 駐輪場外周山留め工事とは、具体的にどういう工法なのか。駐輪場の地下部分の埋戻し工事の際、樹木に影響はないか。

A 山留工事とは、半地下構造である既存の駐輪場の外周の壁を撤去する際に、隣接の宅地の土が崩れることを防ぐための工法である。周辺の木には影響が出ないよう工事をしていく。

Q 既存の駐輪場に枝が近接しているが、駐輪場の解体工事の際に木を切らなくても施工できるのか。埋め戻しをするときに樹木への影響はどうか。

A 手間やコストを考えながらできる限り、影響がないよう工事をする予定である。

Q 各工事ステップ時に樹木に影響がないか。ステップ図は工期が2月末となっているが配布資料では、なぜ1月末までなのか。仮囲いが遅ければ、解体工事の完了時期も遅れるのか。

A 樹木は方向性が決まるまでは手を付けずに施工する。資料の工期（1月末）は、建物の解体工事の工期を示している。業者には現時点の予定で指示しているため、完了時期の見直しが必要になる場合もあると考えられる。

Q 計画の変更はできないのか。保全の会と協議中であるが、なぜ発注できるのか。

A 計画の見直しは難しいと認識している。樹木以外の既存の構造物に関して撤去できるものは今の段階で進めさせていただきたい。

Q 既存の自転車等駐車場は使うことはできないのか。使うことができない状態であれば、収容台数の確保は既にできているのではないか。

A 都市計画道路内にある旧調布駅南自転車駐車場は使うことができない状況である。現在、借地で運営している自転車駐車場を安定的かつ恒久的に利用可能な自転車駐車場とすることから、市有地に自転車駐車場を整備する必要がある。

Q 鉄道上部の自転車駐車場はいつできるのか。

A 鉄道上部（相模原線上部）の自転車駐車場は今年度の開設を目指している。京王線本線の東地区・西地区は今年度、用地を取得して来年度の整備を予定している。

Q 地下自転車駐車場の開設時期はいつか。

A 28年度で解体工事を行い、29年度、30年度で新築工事を行い、30年度内の開設を目指している。

Q 緑と公園課として、調布駅前公園や樹木が無くなることをどのように考

えているのか。

A 調布駅前公園に対する，市民の思いは非常に感じていたため，閉園となることは残念である。駅前広場の計画は，平成14年2月に京王線地下化に伴い決定したものであり，緑と公園課も残念な気持ちである。

Q トイレ周辺の樹木を触らずにトイレの解体ができるのか。

A 樹木を撤去してからトイレを解体する方がやりやすいが，樹木を撤去せずに解体することも可能である。

Q 文化と平和のモニュメントは写真などの記憶に残すのではなく，銘板のプレートを残してほしい。副市長は銘板を残すと言っていた。

A 確認する。

Q トイレを無くした後，どこのトイレを使えばよいのか。

A 駅前広場の広範を作業スペースとして使用するため，人の滞留がなくなり工事の間のトイレ利用はなくなると考えている。今後の設置については，まだいつ，何処に作るかは明言できないが，新たなトイレを作っていくという考えである。

Q 調布駅前公園を撤去して，その後どういう公園施設ができるのか。

A 代替えの公園は，相模原線の線路の跡地（市役所西側）になる。平成29年度に設計を進め，30年度に整備する予定である。面積は，調布駅前公園が約1300平米で正方形の形状であったのに対して，代替え公園の面積は約1600平米である。線路跡地という事で幅が10mぐらい，長さが160m以上で少し細長い形態となるので，調布駅前公園と異なりどういうものが置けるかは設計の中で決める。

Q 年末年始の作業日程や通勤・通学時間帯の工事車両の出入りはどうなる

のか。

A 工事の進み具合にもよるが、年末年始（12/29から1/3まで）は休みとする。工事車両の搬出搬入は、通行量の多い早い時間帯（通勤・通学の時間帯）は避けて午前9時以降で考えている。また、9時以前の時間帯は、極力搬入搬出の台数を少なくしたいと考えている。

Q 振動・騒音はどのくらいの基準でやるのか。また、特定建設作業に該当するのか。

A 振動騒音については振動騒音計があるので場内に設置し、デシベル（数値）で表示を考えている。東京都に騒音の規定があり、ホームページでも確認できるが、この規定を超えないようにしたいと考えている。瞬間的に超える場合もあるかと思うが、ご理解をしていただきたいと思う。また、特定建設作業なので工事前に届出済みである。

Q 仮囲いは、何枚かごとに中が見えるようになっているのか。中を市民がチェックするという視点あるか。

A グリーンホール側は、仮囲いを設置すると日中でも暗くなってしまうおそれがあるため透明なリアパネルの仮囲いを入れる。そのため、クリアパネルからは作業内ヤード内を見ることはできる。

Q 瓦礫はどこに廃棄するのか

A 特殊なもの（アスベスト）も含め、産業廃棄物（瓦礫）は法律に従い適切に処理する。

Q 確認だが、木には触らないということによいか。

A 方向性が定まるまでは木には手をつけない。

Q 地下に駐輪場を作るにあたって他の場所等をあつたのか、他に場所はなかったのか。

A 地下駐輪場を整備するに当たり，市民や近隣駐輪場の利用者などにどのような駐輪場が良いかアンケートを行ったところ，地下駐輪場が妥当である，望ましいという結果が過半数を占めた。

Q アンケート内容はどのようなものか。

A 駅前広場の地下と鉄道上部3箇所（平置き）に整備する案，鉄道上部の立体で建てられる場所は立体で建てたうえで別途土地を確保し必要台数を確保する案，鉄道上部に平面式で整備したうえで需要動向を見ながら段階的に整備する案の3案でアンケートを実施した。この結果，地下駐輪場が望ましいという結果が過半数以上占めた。